

■コメント

第52週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザは、学校が冬休みに入ったため報告数が少なくなっていますが、例年、学校が始まると流行が拡大しており、1～2週間のうちにも注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。健康管理に十分注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防を心がけましょう。

・感染性胃腸炎は、全国的に報告数が多くなっています。手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減		前週と比較しておおむね	
														急増減	増減		
フィレン	インフルエンザ	205	5.54	7.05			小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.55			急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.41			小児科	RSウイルス感染症	15	0.63	1.10			増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	1.72			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-			微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	
	感染性胃腸炎	147	6.13	12.44			眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.48			横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	水痘	18	0.75	1.51			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-						
	手足口病	10	0.42	0.45				無菌性髄膜炎	-	-	0.03						
	伝染性紅斑	2	0.08	0.37				マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.52						
	突発性発しん	9	0.38	0.33				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	百日咳	-	-	0.02				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03													

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	9	154	女性(10歳代)・1人、男性(20歳代)・2人、女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・3人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人
5	梅毒	2	27	女性(10歳代)・1人、女性(50歳代)・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第48週	111	15	81	501	20	14	4	7	-	3	7	12	-	1	-	-	2	-	-	-
第49週	116	11	62	389	11	18	2	1	1	2	9	13	1	3	-	-	5	-	-	-	-	-	
第50週	147	6	58	314	12	18	7	8	1	4	6	7	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	
第51週	270	6	57	245	18	28	5	13	-	3	5	17	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
第52週	205	2	34	147	18	10	2	9	-	-	2	15	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第48週	3.00	0.63	3.38	20.88	0.83	0.58	0.17	0.29	-	0.13	0.29	0.50	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-	-
第49週	3.14	0.46	2.58	16.21	0.46	0.75	0.08	0.04	0.04	0.08	0.38	0.54	0.13	0.38	-	-	-	0.71	-	-	-	-	
第50週	3.97	0.25	2.42	13.08	0.50	0.75	0.29	0.33	0.04	0.17	0.25	0.29	-	0.38	-	-	-	0.43	-	-	-	-	
第51週	7.30	0.25	2.38	10.21	0.75	1.17	0.21	0.54	-	0.13	0.21	0.71	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	
第52週	5.54	0.08	1.42	6.13	0.75	0.42	0.08	0.38	-	-	0.08	0.63	-	0.38	-	-	-	0.14	-	-	-	-	
全国	第50週	5.02	0.51	2.72	20.89	0.65	0.43	0.13	0.40	0.01	0.09	0.97	0.79	0.01	0.71	-	0.05	1.01	0.02	0.06	-	-	
第51週	8.38	0.48	2.36	17.28	0.60	0.39	0.13	0.38	0.01	0.07	0.88	0.70	0.01	0.69	0.01	0.03	0.84	0.02	0.05	-	-		

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 異物感 眼瞼腫脹	51	男	2016/11/14	結膜擦過物	アデノウイルス53型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆ 手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など)手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85~90℃で90秒間以上)しましょう。

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

【参考】

・厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

・広島市感染症情報センター「感染症トピックス/ノロウイルスによる感染性胃腸炎」

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1265934252697/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第52週(12月26日~1月1日)